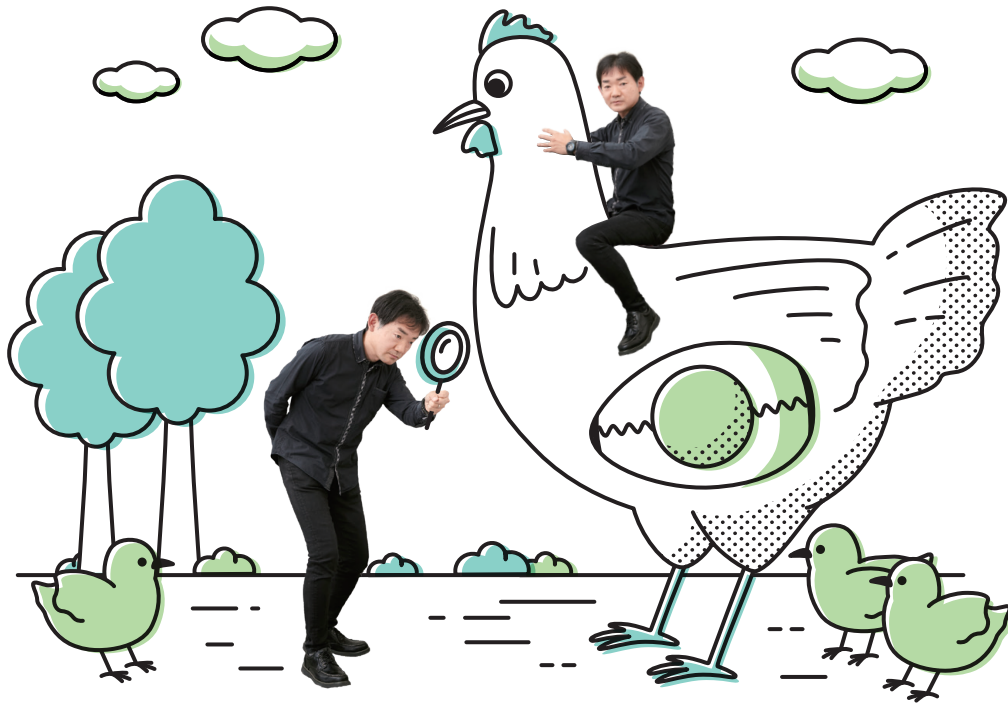




## 不妊の原因解明のために、 にわとりを研究する？



にわたりの「卵膜」を分析し、  
受精の仕組みが解明できれば  
不妊治療にも貢献できるはず。

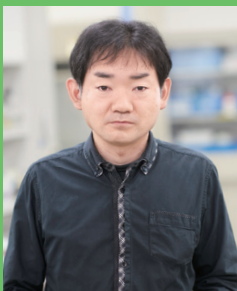
### 生物の神秘ともいわれる、「受精」の仕組み。 まだまだ解明できていない謎がいっぱい。

地球の長い歴史の中で、これまでたくさんの生物が命を紡いできました。なかでも、とても神秘的で重要な生命現象のひとつが「受精」。私たち(ヒト)を含む、有性生殖で子孫を残すすべての生物の原点ともいべき振る舞いです。これまで数多くの研究者が受精に関する研究に取り組み、多くのことが解明されてきました。しかし、現在でも受精の仕組みにはまだまだ解明されていない部分がたくさんあります。たとえば、ヒトの不妊についてもそのひとつ。近年、体外受精の研究などにより、不妊治療が身近になりつつあります。しかし、そもそも不妊になる原因はくわしくわかっておらず、解明が待たれています。

### ニワトリの「卵膜」を分析することで、 ヒトの「透明帯」の解明をめざす。

私たちが注目しているのが、「透明帯」や「卵膜」といわれる、卵子のまわりを覆っている被膜部分(哺乳類の場合は透明帯、鳥類の場合は卵膜と呼ばれる)。透明帯は、受精の際に精子が結合する足場となるなどの重要な働きをもち、異常があれば不妊につながるなどがわかっています。しかし、形成過程など、まだまだわからないことが多い部分です。そこで、研究室では哺乳類の透明帯よりも入手しやすいニワトリの卵膜を試料に用いて、透明帯・卵膜の構造や機能の解明をめざしています。ヒトの不妊の原因解明や、新たな不妊治療法確立の一助になる可能性を秘めた、とてもやりがいのある研究です。

#### TEACHER'S PROFILE



#### 奥村 裕紀 先生

Okumura Hiroki

これまで国内の大学やスウェーデンの研究所などで、「動物の受精」をテーマに研究を続けてきました。きっかけとなったのは、小学生のころ、人体の神秘を紹介するTV番組で見た、受精の瞬間を捉えた映像。とても感動的で、今でも強く印象に残っています。

#### マイブーム紹介



#### トランペットの演奏が、 ささやかな楽しみのひとつに。

高校時代、金管楽器の仕組みに興味をもったのがきっかけで、吹奏楽部に入学し、チューバを担当。その後大学でトランペットを始めました。その後もアマチュアの楽団に参加して演奏するなど、現在まで続く趣味になっています。